

（3）過去に発生した主な地震（注3）

1904年以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1950年8月4日にはM6.4の地震が発生し、死者100人などの被害が生じた。また、1967年7月30日にはM6.6の地震が発生し、死者240人、負傷者1,536人などの被害が生じた。

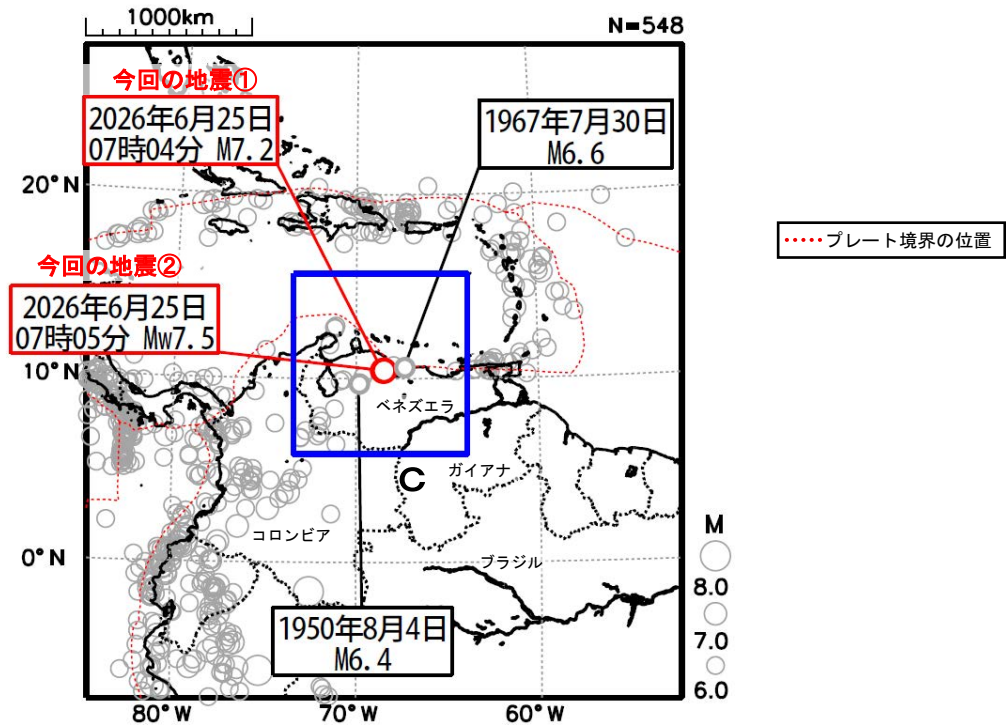


図3-1 震央分布図（1904年1月1日～2026年6月30日、深さ0～200km、 $M \geq 6.0$ ）  
2026年6月の地震を赤く表示。

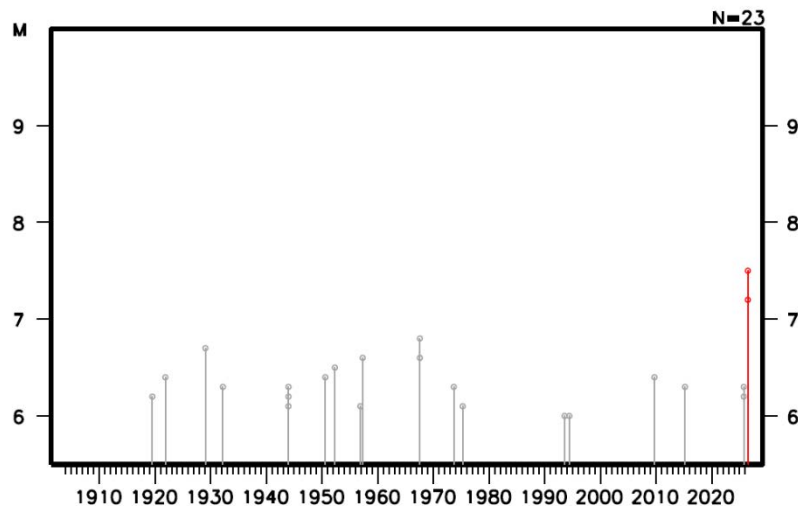


図3-2 図3-1の領域c内のM-T図

（注3）震源要素は、2021年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 12(1904-2021)、2022年以降は米国地質調査所(USGS)による(2026年7月1日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震のMwはGlobal CMTによる。地震の被害は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird(2003)\*<sup>1</sup>より引用。

\*<sup>1</sup>参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.